

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	消防本部 消防課
基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3.「安全・減災都市二宮」づくり
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化
実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	火災予防活動経費	97.2%	B
02	応急手当普及活動経費	92.3%	A
03	消防救急無線広域化・共同化等整備事業	80.2%	A
04	緊急消防援助隊活動経費	24.9%	A
05	救急救助活動経費	76.2%	A
06	警防活動経費	98.0%	A
07	1市2町高機能消防指令センター整備事業	—	A
08	災害対応特殊救急自動車購入事業	—	—
09	第3分団詰所整備事業	96.3%	D
10	消防庁舎維持管理経費	96.6%	B
11	消防広域化への取組み	—	A
12	消防団運営経費	96.3%	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人が応急手当ができるように知識と技術の習得者の普及拡大。 ・救急出動の増加と高度化は隊員技能や車両配備に深刻な影響を与える。 ・インフラ整備の基礎資料になる気象観測装置は老朽化し信頼性を欠いている。 ・消防団新法が公布され必要性和地位は見直されたが団員確保と拠点整備。 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	・二宮町消防計画に基づいて事業が実施されているため適正である。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・現有の人員と資機材を工夫して消防(火災・救急)業務にあたっている。 ・指令台や無線設備は共同整備等で効率的かつ効果的に更新が進んでいるが、消防庁舎や空調機、気象観測装置などの設備が老朽化して修繕の対応に追われている。災害時には拠点になる施設であり計画的に更新する必要がある。 ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を消防計画に反映する。 						

◎評価者[担当主管部長]



① 現状維持



② 改善して町が実施



③ 改善して町以外が実施



④ 廃止

意見等

・複雑多様化、高度化する救急事案に対応するため、指導救命士の養成を行い、救急救命士及び救急隊員の水準向上を図る。
 ・消防指令業務の共同運用に伴い、老朽化した気象観測装置の更新を行い、正確な気象データの収集・解析により突発的な自然災害に備える。
 ・地域防災力の中心的役割を担う消防団の拠点施設が老朽化しているため、大規模災害に備え計画的に整備する。